

# 胴腹滝の水は、どこからやってくるのか？

## 少し化学的に見てみると・・・

胴腹滝の水はカルシウム、マグネシウムなどの硬度が11mg／リットルと低く、淡白でクセがありません。また、蒸発残留物が40～50mg／リットルと少なく、不純物を含まない極めて良好な水といえます。

さて、この水はどこから来るのか？水温をヒントにさぐってみましょう。胴腹滝の水は、融雪期の最低水温7.9℃、夏期の最高水温9.1℃と年間を通じて低く、変動幅も非常に小さいことが分かります。このことにより、胴腹滝の集水域がかなり高い標高、広い範囲に及ぶものと考えられます。

胴腹滝の標高からすると地下水温は、11.4℃と推定されます。ところが、実際の水温は平均8.5℃前後になっています。ということは、もっとずっと地下温度が低いところ、つまり標高の高いところを通過していることになります。仮に、集水域を各標高で万遍なくほぼ同水量が得られるものとして、この温度差、湧水量と降水量、それに胴腹滝地点の恒温に至るまでの時間から推測すると、胴腹滝の標高約230mからその上、約1680m地点（鳥海湖付近の標高）までと推定されます。胴腹滝の水は、かなり高いところに降った雨も湧き出していることになります。

※胴腹滝とその周辺2.49haは、平成14年3月29日、山形県里山環境保全地域第1号として指定されました。